

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月28日

上場会社名 愛光電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 9909 URL <http://www.aiko-denki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 保

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大関 正一

TEL 0465-37-2121

四半期報告書提出予定日 平成26年1月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年3月21日～平成25年12月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,456	5.8	104	470.3	107	448.5	55	—
25年3月期第3四半期	7,047	△4.1	18	△49.1	19	△51.9	0	△20.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.63	—
25年3月期第3四半期	0.20	—

平成26年3月期第1四半期より「仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更」を行っております。詳細は添付資料2頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。なお、平成25年3月期第3四半期の数値につきましては当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5,728	—	1,926	—	33.6	—	439.82	—
25年3月期	5,366	—	1,879	—	35.0	—	429.05	—

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 1,926百万円 25年3月期 1,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,470	5.9	105	13.7	100	5.9	45	—	10.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期第1四半期より「仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更」を行っております。詳細は添付資料2頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。なお、通期の増減率につきましては平成25年3月期実績を当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料2頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	4,411,000 株	25年3月期	4,411,000 株
26年3月期3Q	31,464 株	25年3月期	30,145 株
26年3月期3Q	4,380,456 株	25年3月期3Q	4,381,382 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビューを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
会計方針の変更	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済・金融政策に対する期待感から、円安や株価の上昇など景気回復に向けた動きが見られたものの、雇用情勢や所得環境など実態経済の本格回復には至らず、円安に伴う原材料上昇など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

電設資材卸売業界におきましては、LED照明、太陽光発電システム等の省エネ関連商材に活況が見られるものの、全体的には設備投資が本格的回復に至らず厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社においては4月に展示即売会「AIKOフェスタ2013」を実施いたしました。また、当第3四半期会計期間において売上が好調に推移した結果、当第3四半期累計期間における売上高は7,456百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

利益面につきましては、収益増に伴い、営業利益104百万円（前年同期比470.3%増）となり、経常利益107百万円（前年同期比448.5%増）、四半期純利益は55百万円（前年同期は四半期純利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は5,728百万円となり、前事業年度末に比べ361百万円増加いたしました。流動資産は4,818百万円となり、371百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金の増加と、当第4四半期会計期間の受注増に伴う商品の増加によるものです。固定資産は909百万円となり、10百万円減少いたしました。主な要因は投資有価証券の時価評価による増加と、固定資産償却による減少との差額です。

当第3四半期会計期間末の負債合計は3,801百万円となり、前事業年度末に比べ314百万円増加いたしました。流動負債は仕入債務等の増加により3,569百万円となり、前事業年度末に比べ281百万円増加いたしました。固定負債は前事業年度末に比べ33百万円増加しております。

これらにより当第3四半期会計期間末の純資産の部は1,926百万円となり、前事業年度末と比べ46百万円増加いたしました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年7月25日発表の数値と同じであり、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月21日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

（仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更）

従来、商品の仕入代金現金決済時に受取る仕入代金の割引については、営業外収益の仕入割引として処理し、売上代金現金決済時に支払う売上代金の割引については、営業外費用の売上割引として処理していましたが、第1四半期会計期間より、仕入控除項目及び売上控除項目として売上原価及び売上高に含めて処理する方法に変更致しました。

この変更は、適用される仕入割引及び売上割引の割引率と市場の実勢金利との乖離が長期化し、金利としての側面が薄れ、その実態が商取引上の値引きに事実上相当していること、及び、適切な流通価格の形成を目的とした構造改革の一環として、第1四半期会計期間よりこの取引を営業所単位の営業損益管理に折り込むよう経営管理方法を見直したことから、経営環境の変化と取引実態に即した、より適正な経営成績を表示するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同四半期については遡及適用後の四半期財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の売上総利益が65,152千円増加し、営業損失46,825千円から営業利益18,327千円となっております。また、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,303	1,221,386
受取手形	1,435,798	1,503,960
売掛金	1,733,057	1,580,818
商品	284,754	470,652
その他	94,538	72,140
貸倒引当金	△41,802	△30,369
流動資産合計	4,446,650	4,818,590
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	194,889	188,185
土地	325,930	325,930
その他(純額)	24,303	18,257
有形固定資産合計	545,122	532,373
無形固定資産	34,354	32,552
投資その他の資産		
投資有価証券	46,900	54,369
その他	353,082	358,201
貸倒引当金	△59,110	△67,916
投資その他の資産合計	340,872	344,654
固定資産合計	920,348	909,580
資産合計	5,366,999	5,728,170

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	459,531	292,595
買掛金	826,676	1,057,438
電子記録債務	—	171,409
短期借入金	1,800,000	1,800,000
賞与引当金	54,000	33,001
その他	148,102	215,429
流動負債合計	3,288,310	3,569,873
固定負債		
退職給付引当金	136,670	165,110
役員退職慰労引当金	62,392	67,000
固定負債合計	199,062	232,110
負債合計	3,487,372	3,801,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	611,650	611,650
資本剰余金	691,950	691,950
利益剰余金	574,812	617,010
自己株式	△9,201	△9,550
株主資本合計	1,869,210	1,911,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,415	15,126
評価・換算差額等合計	10,415	15,126
純資産合計	1,879,626	1,926,187
負債純資産合計	5,366,999	5,728,170

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)
売上高	7,047,534	7,456,996
売上原価	5,868,579	6,192,342
売上総利益	1,178,955	1,264,653
販売費及び一般管理費	1,160,627	1,160,134
営業利益	18,327	104,519
営業外収益		
受取利息	1,349	2,755
生命保険配当金	693	707
その他	7,704	6,047
営業外収益合計	9,747	9,511
営業外費用		
支払利息	6,901	6,352
その他	1,555	63
営業外費用合計	8,456	6,416
経常利益	19,618	107,614
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,038
特別利益合計	—	1,038
特別損失		
投資有価証券売却損	13,977	—
特別損失合計	13,977	—
税引前四半期純利益	5,640	108,652
法人税、住民税及び事業税	6,293	60,228
法人税等調整額	△1,522	△6,917
法人税等合計	4,770	53,311
四半期純利益	870	55,341

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。